

懸念事項の報告方法



問題を見かけたら、報告や問題提起を行います！

問題の報告や問題提起を行うことは全員の責任です。倫理ガイドライン違反の恐れがあればすべて調査しなければなりません。



まず上司に報告してください

懸念事項があれば、まず初めに直属上司または間接上司に報告してください。



その他のサポート

グループの最高倫理・コンプライアンス責任者がいつでもあなたをサポートします。



倫理・コンプライアンスホットライン

直接上司に報告するのが難しければ、倫理・コンプライアンスホットラインに連絡することができます。これは、従業員の皆さんが懸念事項を報告するための専用ホットラインです。ほとんどの場合、匿名で（現地の法律で匿名が禁じられていない限り）報告することができます。



報復禁止

すべての懸念事項は敬意と配慮をもって対処されます。報告や問題提起した人に対するいかなる報復行為も決して許されません。

REFLECT

NSGグループ倫理規範



NSGグループ倫理規範の重要性

倫理的行動は、当社グループに対する評価を守り、事業として確実に成功するために欠かすことのできないものであるとともに、法令やグループポリシーを遵守するための基盤となるものです。私たちは、私たちの行動が当社グループの評価に傷をつけたり、社会的な規範に反したりするような事態を回避しなければなりません。

倫理的行動を取ることで、高額な罰金を支払うというだけでなく、信用を失墜するというさらに重大な結果を防止することにもなります。つまり、倫理的行動は、当社グループが企業として今後成功していくために欠かすことのできない要素なのです。

本規範では、私たちが、私たち自身や他の人たちに期待する高い行動基準を定めています。私たちは、最上の会社となることを目指しています。これは時として、法令が定める最低限のものを守ってよしとするのではなく、それよりも高い水準を目指すことを意味します。

例えば、私たちはいかなる場合も、次のような行為を決して容認しません。

- 従業員や一般の人々の安全衛生を危うくする行為
- 虐待、ハラスメント、威嚇行為
- 法令上の義務の不履行
- 競争法および贈収賄防止法違反
- 不正会計または虚偽報告
- グループ資産の不正使用
- 顧客、競合他社またはサプライヤーとの不適切な関係
- 環境に害を及ぼす行為
- その他のNSGグループ倫理規範に違反するあらゆる行為

より詳細な情報はNSGグループ倫理規範を参照してください。倫理規範（正本）はイントラネット上のグループポリシーのセクションからダウンロードが可能です。また、各地域の人事部門から冊子入手することもできます。

3つのアクションポイント

1. 責任を持って倫理的に行動すること。私たち一人ひとりに責任があります。

2. 同僚、顧客、およびサプライヤーに対してオープンで透明性のある対応をすること。

3. 当社グループ内のどこかで倫理に反することが行われれば、グループ内の他の部門や人に悪影響が及ぶおそれがあることを理解すること。

倫理的ジレンマへの対処法



ときには、本規範に記載されていないような事態に直面し、明確な解決策もなく、どのように対応すればよいか分からないような状況に遭遇するかもしれません。その場合は、次の質問に自分で答えてみることで、適切な判断を下すことができます。

その行動は合法か？

その行動を正しいことだと思えるか？

そうすると決めた後、どんな気持ちになるか？

同僚や友人、家族に自分の行動について自信を持って説明できるか？

自分の行動がマスメディアで取り上げられても、自信を持って見ていられるか？

裁判になった場合、自分の行動を正当化できるか？

判断に困った場合は、一見どんなに些細に見える問題であっても、遠慮なく報告や問題提起をしてください。最高水準の倫理基準を打ち立てることを目指す当社グループは、常に皆さんをサポートします。